

令和5年度 県立常陸太田特別支援学校自己評価表

【別紙様式2】

目指す学校像	◇一人一人の学びを大切にしている学校 ◇家庭や地域と共に歩む学校 ◇地域の特別支援教育の推進に貢献できる学校		
昨年度の成果と課題	重点項目	重点目標	達成状況
・年度初めに危機管理マニュアルの更新の実施、避難訓練を中心とした防災教育の実施を行った。危機管理マニュアルの更新と活用の仕方について検討する。 ・感染症対策を充分にとり、安心安全な学習活動、行事を実施することができた。 ・避難所初期対応訓練において、教職員への周知や共通理解を引き続き実施し、学校全体としての防災力を高めていく。 ・熱中症対策ガイドラインを作成し、環境条件に応じた活動内容を明確にした。熱中症対策ガイドラインを活用し、徹底を図る。 ・開校から現在に至るまでの本校におけるキャリア教育実践についての考察をまとめ、博報堂教育財団が募集する論文に応募し、博報賞を受賞することができた。 ・各部体験学習、インターンシップでは、「OTAキャリア教育プラン」に基づいて評価表の様式を見直し、各部間で系統性のある評価を実施することができた。 ・学校間交流は、小・中学部は開校より同一校と継続実施しており、コロナ禍においても、内容を工夫して交流の実施ができた。 ・幼児教育施設や小中学校、高等学校からの依頼に応じて巡回相談や就学・転学にかかわる相談を実施し、地域へのセンター的役割を果たすよう努めている。 ・学習指導要領に基づき、育成を目指す3つの柱での小・中学部の各教科、各教科を合わせた指導の年間指導計画を作成している。「深い学び」の実現にむけて、実践と振り返りをおとしてICTを効果的に活用した授業づくりに取り組んでいる。 ・各教育機関からの依頼に応じた巡回相談や専門家派遣、外部機関との連携を図るとともに、市町村教育委員会と連携して障害のある児童生徒の適切な学びの場を検討する。 ・多様なニーズに対応するため、巡回相談員の専門性を高めるとともに校内外における研修やケース会議の充実を図る。 ・各部・校務分掌部で業務改善に取り組む。働きやすさについて課題意識をもち、相談し合える環境や、休暇取得しやすくサポートし合える体制を構築する。	1 安全安心な学校づくり	①危機管理体制の整備 ②地域と連携した安全管理 ③防災教育、健康教育の工夫 ④相談できる体制づくり ⑤保護者との連携	B
	2 確かな学力の習得	⑥各教科における「深い学び」を追求した授業づくりの推進 ⑦ICT活用による学習指導の充実 ⑧自立活動の指導の充実	B
	3 キャリア教育の推進	⑨社会に開かれた教育課程の取り組み（OTAぶどうプロジェクト） ⑩地域と連携した系統性のあるキャリア教育の推進 ⑪社会人講師による地域の特色を生かした作業学習 ⑫生涯学習への意欲を高めるスポーツ・文化芸術活動の充実 ⑬あいさつの励行	B
	4 地域の特別支援教育の推進	⑭心のバリアフリーを目指す交流及び共同学習の工夫 ⑮地域の特別支援教育を推進するセンター的機能の充実 ⑯多様なニーズに応えるための研修会の企画運営 ⑰小・中学校等への自立活動の指導に関する助言・援助の充実	B
	5 専門性の向上と働きやすさ	⑱教員としての専門性を高めるための研修会の実施 ⑲社会人としての資質能力を高める研修の充実 ⑳教員間でのサポートし合える体制づくり ㉑業務削減と休暇取得の推進	B

